

+Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都 八王子市北野町 575-22
並木 真 TEL: 090-4314-3044
Fax: 042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2025年3月

The Service Club of The YMCA

第357号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長 並木 真
副会長 久保田 貞視
書記 小口 多津子
会計 長谷川あや子
直前会長 花輪 宗命
担当主事 菅野 牧夫
ブリテン 山本英次 大久保重子

国際会長 A シャナヴァスカーン (インド) 主題「より良い世界のために、共に」
スローガン「立ち上がろう、そして輝こう」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (台湾) 主題「大きなインパクトを起こそう」
スローガン「大胆に、信念を持って奉仕しよう」
東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
スローガン「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
あずさ部部長 ピーター・マウントフォード (甲府) 主題「めあて 望み」
八王子クラブ会長 並木 真 主題「協働と共感」

第23回チャリティーコンサート

(対人地雷・クラスター爆弾廃絶のために
能登半島震災と豪雨被害支援のために)

日時:2025年3月15日(土) 14:00~16:00

八王子市北野市民センター 8階ホール

司会: 菅野牧夫

会長挨拶 会長:並木 真

JCBL代表理事挨拶 清水俊弘様

第1部奈良原繭里ソプラノコンサート 弦の調べと共に

ソプラノ 奈良原繭里さん

ヴァイオリン 笹川哲史さん

ピアノ 松井理恵さん

休憩

第2部 奈良原繭里ソプラノコンサート 弦の調べと共に

花束贈呈 中央大学 ひつじぐも 代表3名

フィナーレ

巻 頭 言

第1回アジア太平洋クリスチャン・ユース・アッセンブリーに同行して

特別寄稿

田附和久(日本YMCA同盟)

2024年9月4日から8日まで、アジア太平洋地域12カ国・地域からYMCA、YWCA等のキリスト教青年団体に所属するユース約60名が韓国・済州島に集い、第1回



アジア太平洋クリスチャン・ユース・アッセンブリーが開催されました(主催:韓国YMCA全国連盟、韓国大学)

今月の聖句(2025年3月)

施しをするときは、右の手のしていることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを隠すためである。そうすれば、隠れことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

(新約聖書 マタイによる福音書 6:3~4)

YMCA 全国連盟)。

日本からは学生 YMCA メンバー3名が参加し、私は日本 YMCA 同盟スタッフとしてプログラム視察のために同行しました。

日本からの参加者3名のうち2名は、八王子クラブの皆様が日頃から交流していらっしゃる中央大学ひつじくものメンバー、藤原直輝さん(3年)と小暮侃瑠さん(2年)でした(残り1名は立教大学 YMCA より参加)。

平和構築と気候変動をテーマとして英語で進められたこのアッセンブリーにおいて、日本から参加した3名は、皆全く物怖じすることなく、各国の参加者たちと積極的に交流し、英語で自らの意見を述べ、多くの友人を作っていました。ときには英語が思うように口から出てこなかったり、環境問題や歴史についての勉強不足を感じさせられたりすることもあったようですが、そうした経験こそが最も大きな収穫になったのではないのでしょうか。悔しさやもっと学びたいという思いは、ユースたちをさらなる成長へ導く原動力になるものと思います。



プログラム期間中、参加者たちが互いの国の近代史や歴史認識について紹介し合い、意見交換する時間もありません。参加者の藤原さん自身が、3月の八王子クラブ例会での報告で、それを印象に残ったことの一つとして紹介していましたが、日本の学校教育では学ぶ機会が少ない周辺諸国との近代以降の関係史について、各国の仲間たちとの直接の交流を通して共に学べたことも、この上ない貴重な経験になったことでしょう。

日本の YMCA は基本原則において「私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます」と謳っていますが、3人は今後も、自らにつながる歴史的責任をしっかりと認識した上で、友人となったアジア太平洋地域の仲間たちと共に、それぞれの場所で平和実現のために働き続けてくれるものと期待します。

私は同行スタッフとして、海外プログラムへのユース派遣の意義の大きさを再認識させられ、今後さらに多くのユースを海外に送るよう努力したいという思いを強くしま

した。

ワイズメンズクラブでもアジア太平洋地域ユースコンボケーション(AYC)をはじめとする様々な海外渡航の機会を YMCA に集うユースたちに提供いただいています。YMCA でも引き続き多くのユースたちを海外に派遣する働きを強化していければと思います。これまで毎年夏には台湾のユースを日本各地のキャンプ場に招き、キャンプカウンセラーとして活動してもらうプログラム(ICCPJ)を実施してきましたが、今夏からは逆に、日本のユースに台湾のキャンプ場で活動してもらうプログラム(ICCPJ)も開始される予定です。

八王子クラブの皆様には、ひつじくもの学生をはじめとする多くのユースたちの海外渡航を引き続きご支援いただけますと幸いです。ユース一人ひとりの成長、そして国境を越えた人と人とのつながりが、東アジアさらには世界の大きな平和の実現につながっていくことを信じ、これからもユースたちの活動を応援していきたいと思っています。

(掲載写真は田附様のご提供)

チャリティーコンサート成功への誘い

街頭募金 八王子駅前にて





昨日は例年より暖かかったとはいえ日陰の八王子駅頭で2時間にわたる街頭募金、お疲れさまでございました。募金の集計が終わりましたのでご報告いたします。

お名前のわかる方のご寄付を含め合計で、**117,068円**でした。

東京YMCAの熊沢さん、中里さん、中大ひつじくも、並木会長のご友人前田さん、写真撮影と募金にもご協力下さった田中博之さん、大勢の方のご協力があったこそ、そして並木信一さんが事前準備を完璧、丁寧にして下さったお陰だと思います。

*お名前のわかっている方は、

・佐藤重良さん(甲府21クラブ)・・・山梨YMCAのバザーのために並木真会長に野菜の種の提供を受け、そのお礼として真会長に10,000円を送られました。が真会長が固辞されましたため、八王子クラブでお役に立ててほしいとお申し出くださいました。それで1日の街頭募金に入れさせて頂きました。

・稲葉恵子さん(東京八王子)・・・稲葉さんは当日ご家庭の都合で不参加でしたが募金と黄色のジャンパーを貸して下さいました。

・田中博之さん(東京多摩スマイル)・・・写真撮影の他、いくつかの募金箱に募金して下さいました。

・山本さんのご友人からは・・・平圭子様、春日寛司様、近藤久子様、山本宏子様、吉田秀子様からの募金もありました。

近日中に東京YMCAに振り込みます。
クラブ会計 長谷川あや子

川口多文化共生イベントの企画と実績報告 ひつじくも企画担当 藤原直輝君

*この文書は、2025年2月22日に作成された複数の会議記録とミーティングノートをもとにAIによりまとめたものです。内容は、中央大学の学生が関与する「多文化共生イベントの企画と実施」、「川口市や八王子市との連携」、「子ども食堂での学習支援」、「韓国での国際イベント参加」、「YMCAの国際交流活動」など多岐にわたります。また、各セクションには具体的なアクションアイテムが設定され、今後の計画や課題が明確にされています。

*参加者紹介



中央大学法学部3年生の藤原直輝さんが参加。昨年度の企画部委員長を務

めた。アジアユースコミュニケーション(AYC)に参加し、2024年のユースアクションに応募。

*背景

藤原さんのサークルでは、イベント参加者が少ないという課題があり、参加人数を増やすために自分たちで企画を立ち上げることを決定。

資金獲得のためにユースアクション2024のコンテストに参加し、賞金を獲得することを目指す。

*川口市との連携とイベント企画

川口市との連携

川口市の多文化共生推進課と連携し、外国人が多く住む地域でのイベントを企画。

イオンモールと共同でイベントを開催することを決定。

イベント企画

10月26日のハロウィンに合わせて、子どもたちを対

象にしたイベントを開催。

多文化共生をテーマに、中国、韓国、フィリピン、ベトナムの遊びを取り入れたブースを設置。

イベントのコンセプトは「楽しむ、知る、学ぶ」の三段階で、多文化共生を促進。

***イベントの詳細と成果**

イベントの詳細

中国のゴム跳び、フィリピンのケンケンパ、ベトナムのリフティング、韓国の輪投げを実施。スタンプラリーやお菓子の配布を通じて、子どもたちが楽しめる工夫を凝らした。

成果

予想を上回る789人が来場し、イベントは成功を収めた。

イベントの概要と実施状況

第1回目と第2回目のイベント 第1回目の成功:大成功で終了。第2回目の開催:2月に実施。イオンモールのセンターコートを使用し、規模を縮小して開催。

参加国:中国、フィリピン、ベトナム。

開催日数と参加者数:2日間で250人参加。前回より少なかったが、ハロウィンイベントと重ならなかったため、集客は成功。

イベントの準備と運営

国ごとの担当:各国の担当者が遊びや会場設計を担当。情報収集方法:図書館やインターネット、特YouTubeを活用。

参加者の構成と反応

外国人参加者・フィリピンの参加者:多くの日本語を話せるフィリピン人が参加。パキスタンの参加者:少数。

参加者の反応

親からの質問:学生がどのような人たちか知りたいという声があった。情報提供の必要性:参加者に対する説明が不足しているとの指摘。

***今後の計画と課題**

今後のイベント計画 イオンモールでの再イベント:新入生を交えた多文化共生や社会問題への取り組みを検討。多文化共生の深化:より深く踏み込んだ形での取り組みを予定。

イオンのバックアップ

会社全体の支援:イオン全体でのバックアップを期待。新しいイオンモールでの展開:八王子の新しいイオンモールでのイベント開催を視野に入れる。

成果と今後の展望

今回の成功を基にした展開:成果を踏まえ、同じ系列でのイベント開催を検討。

中央大学との連携:地元でのさらなる展開を模索。

多文化共生の課題と背景

八王子市の現状

留学生と研究者の増加 八王子には多くの大学があり、留学生や研究者が家族と共に移住してくる。

既存の市民は外国人との交流経験が少なく、多文化共生が課題となっている。

南アメリカ系住民の増加 過去の政策により、南アメリカ系の労働者が増加。

既存市民との交流が少なく、多文化共生の課題が浮上。ジャイカ研修センターの影響、かつて存在したジャイカの研修センターにより、世界中から研修生が訪れた。研修生と市民の交流が少なく、ゴミの分別やルールへの遵守に関する問題が発生。

川口市の取り組み

外国人住民へのセールスプロモーション

川口市では外国人住民をターゲットにしたセールスプロモーションを実施。藤原さんたちの提案を前向きに受け入れた。

***ひつじくもの活動と展望**

活動の現状と課題

メンバーの増加 現在20人のメンバーが在籍し、今後の活動拡大が期待される。チーム分けを行い、多文化共生や新しい企画のチームを作成予定。

今後の展望

多文化共生チームの活動 川口市や八王子市を含む、さらに多くの市を巻き込んで活動を展開予定。

***子ども食堂と学習支援**

子ども食堂の役割

子ども食堂の機能:地域で子ども食堂を運営し、外国にルーツを持つ子どもたちを支援。学習支援の必要性:日本語が不自由な子どもたちが学校の授業についていけない、宿題ができないといった問題を抱えている。

学生の関与と活動

大学生の役割:大学生が子どもたちの学習支援を行うことで、子どもたちが親しみを感じる。

具体的な活動例:学習支援、宿題の手伝い、親へのアドバイスなど。

支援の拡大 バックアップの意向:中央大学の学生が国際協会の活動に参加し、子どもたちを教育する部分での支援を行っている。

***韓国でのイベント参加**

イベントの概要 開催地と主催:済州島で開催された韓国主催のイベント。テーマは「平和と環境」。

参加者:日本からは3名が参加。韓国が主催のため、韓国人参加者が多い。

環境に関する活動

活動内容:環境活動家の講演を聞き、自国の環境問題について発表。

発表の工夫: 画用紙を使った発表で、台風と地震をテーマに日本の環境問題をアピール。

平和に関する活動

フィールドワーク: 濟州島の歴史を学ぶため、博物館を訪問。映像や模型を通じて体験型の学びを提供。

国ごとの平和の違い: 各国の平和に関する発表を通じて、日本独特の感覚や他国の状況を学ぶ。

***日本の歴史と国際的視点**

日本の歴史観 日本は明治維新を経て、他国に勢力を広げることで独立を勝ち取ったという背景がある。

他国の人々からは、日本が戦争を通じて勢力を広げた歴史を持つと見られている。その歴史を踏まえ、現在の日本は平和を理解しているという見方もある。

国際交流の体験 参加者は日本語を使わず、英語や韓国語などを用いてコミュニケーションを図った。異なる歴史を持つ人々と1週間にわたり交流するイベントが開催された。

***次回イベントの計画**

次回の責任者 第2回目のイベント開催に向けて、次の責任者を決める場面があった。日本の代表として後輩が予定されていたが、後輩が難しいと感じたため、私が次回の代表を務めることになった。

YMCA内での調整が必要で、正式な決定ではないが、現場では私が次の担当者として認識された。

***アジア太平洋クリスチャンユースアッセンブリー**

参加国と組織 アジア太平洋地域の国々が参加し、ロシアも含まれていた。YMCA、YWCA、各国のキリスト教学生団体が参加したエキシユメニカルな集いであった。

資金調達

アジア太平洋YMCA連盟とピーナッツ財団(スヌーピーの財団)が支援。経済的に困難な子どもたちがキャンプに参加できるよう、日本も支援を受けている。

YMCA活動と国際交流

活動概要 YMCAの活動として、12カ国が参加する国際交流イベントが開催されました。アメリカも含まれています。日本からは中大と立教の学生が参加し、合計3名が派遣されました。

日本と韓国の関係

韓国連盟は日本に対して大きな期待を寄せており、将来的には日本での開催も検討されています。

準備期間が短いことが課題として挙げられ、日本と韓国での準備の進め方に違いがあります。

文化交流と学び カルチャーナイトでは、空手の演舞や浴衣を着てのよさこい踊りなど、日本文化の紹介が行われました。アジアの学生と共に生活することで、歴史を見直す良い機会となり、日本の歴史的責任を認識しつつ平和を求める重要性が強調されました。

国際的な参加状況

中国や香港からの参加はありましたが、中国本土からの参加はありませんでした。ベトナムやロシアからの参加もあり、政治的な背景を超えた交流が行われました。

個人的な経験と交流の広がり

参加者の感想

韓国で仲良くなった参加者が日本を訪れ、交流が続いていることが報告されました。こうした国際交流が個人の財産となり、幅広い交流の機会を提供しています。

アクションアイテム イベントのフィードバックを収集し、次回の企画に活かす。川口市およびイオンモールとの今後の連携を強化するためのミーティングを設定。

- イベントの情報提供方法の改善。
- 新入生を交えた多文化共生イベントの計画。
- イオンモール全体でのバックアップ体制の確認。
- 多文化共生チームの結成と活動計画の策定。
- 川口市や八王子市を含む多くの市との連携強化。
- 中央大学の学生による子どもたちへ学習支援の強化。
- 韓国でのイベント参加者の体験を基に報告書の作成。
- 次回イベントの責任者としての準備を進める。
- YMCA内での調整を行い、正式な決定を確認する。
- 日本での将来的な開催についての検討を進める。
- 韓国との準備期間の調整について協議する。

(以上卓話のAIによる要約でした)

報告者・藤原直輝くんの略歴紹介

2003年生まれ。中央大学法学部3年生、国際ボランティアサークル「ひつじくも」2024年度委員長。近年のグローバル化を学生のうちから信念に持ち、2023年度ワイズユース事業のAYC(アジア・ユース・コンボケーション)にひつじくもの4人と参加し、ネパールを訪問、大勢の学生と共に意見交換をしてこられました。今回はワイズ東日本区と東YMCA同盟と協働のY's×SDGsユースアクション2024年度に応募して、市や自治体との協働をめざし、ひつじくも全員の取り組みとしてこの企画を実施。

ほろ苦き恋の味なり 蕨の薹(ふきのとう)

ひつじぐも ワイズ担当 石原島伶名

ひつじぐも便り

こんにちは。中央大学ひつじぐも法学部2年石原島伶



名です。春の陽気が日増しに感じられる頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

でははじめに、ひつじぐも2月下旬の活動をご報告させていただければと思います。

まず児童館活動ですが、15日には児童館でクッキング活動を行いました。当日は、子どもたちとトマトスープスタとごごろ野菜のスープを作り、楽しい時間を過ごすことができました。またその日の午後には、同じ児童館で「リーダーと遊ぼう」という活動を行い、子どもたちと一緒に沢山の遊びを楽しみました。「リーダーと遊ぼう」の活動は22日にも行われました。

次に、ゴミ拾い活動についてお話をさせていただきます。ゴミ拾い活動としては、28日に、大塚駅から茗荷谷キャンパスまでの道のりこかけてゴミ拾いを実施しました。道端には空き缶や吸い殻などのゴミが多く落ちており、1つ1つは小さくとも、キャンパスに着くころには袋いっぱいゴミが集まりました。誤って落としたもの、故意に捨てたもの、ゴミが落ちている理由は様々あるとは思いますが、私たち1人1人のゴミの管理やリサイクルの重要性を改めて感じることができました。

茗荷谷キャンパスに着いてからは、昼食をとった後、2月の定例会を対面で行いました。当日は3人の幹部が参加していたこともあり、定例会は各係の活動報告に加えて、先日実施したアンケートの結果確認や、それを受けての方針決定、新歓についての話し合いなどを行い、充実した時間を過ごすことができました。また、対面で行うことで幹部以外の学生の生の意見も多く取り入れることができたので、良かったと感じています。これから4月に入り、新歓活動も行われていく季節に入りますが、より多くの人にひつじぐもに入り活動に参加してもらえるよう、現在様々な準備をしております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

春が近づいてはおりますが、気温差が激しい日もございますので、皆様お身体にはお気をつけてお過ごしください。

東京YMCA 近況報告

菅野牧夫

1. 1月22～23日に「東日本地区YMCAスタッフ研修会」が「現代のカリヤを訪ねるシリーズ」として福島で開催され、東日本地区の各YMCAの職員33人(内東京YMCA職員6人)が参加した。金迅野牧師(在日大韓基督教会横須賀教会)が講師をつとめ、原子力災害伝承館他、東日本大震災の原子力災害関連施設を巡り、キリスト教理解を含めた多角的な学びの機会となった。
2. 2月1日、会員部主催の「ソシアスフォーラム2024」が山手センターで開催され、会員、職員、学生、ボランティアなど、83名(内30名はオンライン)が参加した。前半は、是常景子氏(東京YWCA青少年育成事業部)と江尻明子氏(東京YMCA多文化共生スペース▽)から、日本社会で生きる外国にルーツのある子どもたちの置かれた現状や、それぞれの団体の取組について講演を聞いた。同日から、250万円を目標に、外国にルーツのある子どもたちを支援するためのクラウドファンディングを開始した(4月18日まで)。
3. 2月3日、「第900回記念早天祈祷会」が山手センターで開催され、46名(内14名はオンライン)が参加した。古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会・東京YMCA評議員会会長)に「中年のおじさんが…」と題して説教をいただいた。
4. 今後の主な行事予定
 - ・「国際協力一斉街頭募金」3月22日 新宿駅周辺
 - ・「総主事就退任式」3月29日 会場:日本基督教団 霊南坂教会
司式:古賀博牧師(評議員会会長/日本基督教団 早稲田教会)
奏楽・演奏:飯靖子氏(理事/日本基督教団 霊南坂教会オルガニスト)
 - ・「第34回チャリティーゴルフ大会」4月10日 PGM総成ゴルフクラブ
 - ・「第22回会員大会」5月24日 山手センター

今月の聖句によせて (2025年3月)

「人に見てもらい、賞賛を得ようとしてなす行為は、ほんとうの善意とは言えません。人の前で善行をしないように注意しなさい。そうでないと、神様からあなたは報いを受けることができません。だから、人に施しをするときは、偽善者たちが人から褒められようとして、人が集まる会堂や、通行人の多い路上でするように、他の人の気をひくように自己宣伝をしてはいけません。このようにしてなされる施しは、つまるところ、相手の不足や痛み genuinely 自分の心を寄せて、その痛みを分かち合うためではなく、自分自身を喜ばせるための行為にほかなりません。イエス・キリストは言います。右の手で他の人に何らかの施しをするときには、その行為を左の手に知らせてはいけません。神様は、自己申告をしなくてもすべて隠ご存じなのだから。そして、神様はその行為に正当に報いてくださる、と。

自分のしていることは、純粋にその人の運命に心を関わらせて、寄り添おうとしていることなのか、それとも、無自覚の内になにか、ひとからの賞賛を得たいとの思いに侵されてはいないだろうか。いや、そんなことはありえない、あるはずがない。このような思いを抱くこと自体、すでに自分自身が勝ってしまっているのではないか、

街頭募金で声をあげながら、脳裏をよぎる思いに揺れていました。

並木 信一



高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野攸夫

わくビレにあるビオトープには例年のようにカエルが産卵をしました。アカガエルの卵ということです。本日ビオトープをのぞいてみると卵からオタマジャクシが出てきていることが確認されました。鳥などに食べられないで成長してくれることを祈っています。3月に入り寒い日も続いていますが一歩ずつ春が近づいてまいりました。

3月に入り、わくわくビレッジの運営もやっと継続できることを公に発表できるようになりました。通常であれば、次年度以降の予約は基本的に完了していますが、事業者が確定しないとお客さんに案内してはだめという東京都からの指示があり、備品やプログラムの予約、食事の予約、2026年度以降の予約、料金改定などをお伝え出来ない状況でした。2月の末にこれらの情報を一気にホームページでお知らせしました。普段とは違う予約方法にお客様からは問い合わせの連絡が多数入ったり、間違った予約方法で連絡が来たりと混乱が続いています。

また、わくビレではメールなどのデジタルツールを使った予約を3期以降進めていきます。取り急ぎ今まで電話で受けていた予約をメールでも受けられるように変更しました。メールで予約書類を送っていただくために、書類の作り直しや予約を受けるための体制を作っていく必要があります。お客様だけでなくスタッフたちも混乱しています。今までの仕事の流れを一から修正して身に着けていくためにはまだまだ時間が必要なようです。

3月1日から新しい予約を受け始めましたが、当初心配されていた、一気に予約が入ることのスタッフ作業の渋滞は発生していません。内心ホッとしていますが、2026年以降の予約があまりにも少ないことを逆に心配しています。今後どうなっていくかもうしばらく状況を見ていかなければなりません。

春の訪れ アカガエルの卵



2025年2月第一例会 報告 小口

日時：2025年2月22日（土）18：00～20：00

会場：北野事務所

出席（敬称略）長谷川、稲葉、小口 並木真、花輪、久保田、久保田佐和子、望月、菅野、山本、大久保、並木信、並木雍子、

ゲスト：中央大学3年ひつじぐも藤原直輝（卓話者）、日本YMCA同盟田附和久氏。以上15名

卓話：「川口多文化共生イベントの企画と実績」

「第1回クリスチャン・ユースアセンブリーに参加して」卓話者：ひつじぐも藤原直輝さん

・スマイル：12,500円

・ハッピーバースデー：久保田佐和子さん

・クラブ諸報告と今後の予定：（並木会長より）

①2月1日（土）東京YMCA会員部主催 ソシアスフォーラム、pm2～4時

テーマ「日本社会で生きる外国にルーツのある子供達の支援の現場」

②2月8日（土）第2回あずさ部評議会、ホスト甲府21、出席（久保田、長谷川、花輪、稲葉）

③2月8、9日中大ひつじぐもが応募したユースアクションの実施「多文化交流イベント」会場、埼玉県川口市イオンモール川口広場、会場案内をワイズでお手伝い、

参加（8日）並木会長、衣笠さん（埼玉）、為我井さん（多摩スマイル）、米山さん（白羊会）

石橋さん（東京YMCA同盟）

（9日）為我井、花輪、久保田、稲葉、小口、

④3月1日（土）能登半島地震&豪雨被災者支援のための街頭募金（並木信一担当）

集合時間・午後1時、場所 JR八王子駅北口階段下、～3：30まで。雨天中止。

参加予定：クラブメンバー、田中博之さん、東京YMCAの熊沢佳代さん、ひつじぐも5名：石原島伶名、矢倉愛美、小宮夏光、霞ひかる、藤原直輝

⑤3月8、9日次期会長・部役員・ワイズ各主任研修会 東山荘 出席予定（長谷川、並木真）

⑥3月15日（土）2：00～第23回地雷廃絶、能登半島災害支援チャリティーコンサート

⑦3月16日 Ys×SDGs Youth Action 2024 オンライン報告会、13:00～15:00開場12:50

参加にはお申込が必要。申し込み先

<https://forms.gle/eKr683TKHqLlPeaD9>

⑦3月22日の第二例会は休会。

⑧3月22日 IBC 高雄・港クラブ創立25周年記念会 参加（クラブ参加期間21日～24日を予定）

出席予定/並木会長、久保田、為我井（多摩スマイル）、稲葉、小口

⑨4月12日（土）4月第二例会、小会議室、6時～司会は久保田副会長（会長は役員会出席）

⑩4月26日（土）4月第一例会（A班）、卓話者、ひつじぐも岩崎葵さん、ドバイ IYC 報告

同日、3：40集合、北野事務所周辺ゴミ拾い運動参加（ワイズ強調月間、Week for Waste）

⑪5月10日（土）第3回あずさ部評議会（ホスト富士五湖）

⑫5月17日（土）ひつじぐも新入生歓迎草刈・BBQ（わくわくビレッジ）B班担当

⑬5月24日（土）YMCA 会員大会・午前中は在京会長会

報告

会長から

*8月1～3日 第31回アジア太平洋地域大会 第31回アジア太平洋地域大会@熊本

*AYC（Area Youth Convocation）について（AYCは7月30日～8月10日、熊本YMCA 主管）

*ユース・ボランティアリーダーズフォーラム 9月5日～7日、富士山エコビレッジ 横浜 Y

・2月のTOF月間の説明：会長から

ブリテン参照（田中 TOF 委員長の言葉より）

各クラブが例会での食事代1回分を寄付。YMCA から応募があったプロジェクトへの財政的支援。東日本区としては不登児童対応プロジェクトへ260万円の助成金。

・日本YMCA同盟：田附和久さんから

*ウクライナ避難者支援3年目が過ぎた、22日午後、四ツ谷でフォーラムが開かれ、ウクライナからの避難者の声を直接聞き、。横山由利亜主事が避難者対象アンケートの結果を報告しました。

*御殿場東山荘が現在改修中（6号館・黙想館）

*在日本韓国YMCAは、新規事業再開を目指して、現在は会館での事業を休止。

*YMCA 報告 菅野担当主事より

・ピンクシャツデー2025 2月26日

・国際協力一斉街頭募金 3月22日 新宿駅周辺

・YMCA 総主事就任式 3月29日

会場 霊南坂教会

菅谷淳総主事が退任され、4月より星野太郎副総主事が総主事に。

以上

先月の例会ポイント (2月)

在籍	12名	切手	計 583g
メン	11名	現金	0円
メーキャップ	0名	累計	0円
出席率	92%	スマイル	12,500円
メネット	2名	累計	89,000円
ゲスト	1名	オークション	0円
ビジター	0名	累計	0円
ひつじくも	1名		

切手収集明細 大久保 126g、稲葉 42g、小口 75g、
並木真 140g、長谷川 82g、酢屋 118g



寒い中を私も一緒に頑張りました!
並木雍子さん



写真撮影に募金活動に多額の献金に



大活躍の田中博之さん

今月の誕生祝い3月度

- 菅野牧夫さん 3月15日
- 長谷川あや子さん 3月19日
- 並木雍子さん 3月19日

プログラム

出演者プロフィール

挨拶

東京八王子YMCA 会長 並木 真

地雷廃絶日本キャンペーン (JCBL)

代表理事 清水俊弘氏

<第一部>

・オペラ「アルチーナ」より「また私を喜ばせてあげて」
ヘンデル 作曲

・野薔薇
シューベルト作曲

・Ave Maria

・華麗なる大円舞曲 ショパン作曲
(ピアノソロ)

・この道 北原白秋作詞 山田耕筰作曲

・からたちの花
北原白秋作詞 山田耕筰作曲

・夢路より
フォスター作曲

休憩 15分

<第二部>

・オペラ「フィガロの結婚」より
「恋とはどんなものかしら」
モーツァルト作曲

・我が母の教え給えし詩
ドヴォルザーク作曲

～♪ みんなで歌おう ～

花・翼を下さい・上を向いて歩こう

・愛の喜び
クライスラー作曲 (ヴァイオリンソロ)

・オペレッタ「こうもり」より
「チャールダーシュ」
ヨハン・シュトラウスII作曲

奈良原 繭里 (ならはら まゆり) (ソプラノ)

八王子市出身。尚美学園短期大学卒業。洗足学園音楽大学卒業。東京音楽大学大学院修了。オペラでは「仮面舞踏会」アメリカ、「椿姫」ヴィオレッタ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、「トウーランドット」リュウ、「修道女アンジェリカ」アンジェリカ役等。オペレッタでは「チャールダッシュの女王」シルヴァ役等で出演。高尾山薬王院で行われた初の音楽コンサートに出演。2018年八王子市いちようホール、2022年岩手県大船渡市リアスホールでリサイタルを開催し好評を得る。ヴァインチェンツォ・ベッロ、ウーベ・ハイルマンに師事。藤原歌劇団団員。

笹川 哲史 (ささがわ さとし) (ヴァイオリン)

東京都出身。幼少よりヴァイオリンとピアノを学ぶ。東京音楽大学在学中より渡仏し、パリにてオリヴィエ・シャルリエ氏に師事。東京音楽大学卒業後も、アマデウス四重奏団の故ノーバート・ブレニン氏の知遇を得て薫陶を受けるなど、ヨーロッパ各地で更に研鑽を積む。帰国後は、コンチェルト等のソロ、室内楽、オーケストラ、レコーディングと活動は多岐にわたり、オーケストラのコンサートマスター、首席奏者としても数多くの演奏会に出演している。室内楽等のアンサンブルパートナーとしての信頼も厚く著名な演奏家とも多数共演。これまでにヴァイオリンをゲルハルト・ボッセ、藤川真弓、オリヴィエ・シャルリエ、クリスティアーネ・エディンガー、ルドルフ・コールマン、ジュリアーノ・カルミニョーラの各氏に、室内楽をカルミナ四重奏団、ワルター・レヴィン等の各氏に師事。

松井 理恵 (まつい りえ) (ピアノ)

長野県出身。東京音楽大学ピアノ科卒業、同大学院ソルフェージュ科終了。声楽、器楽の伴奏、合唱・オペラにおける稽古ピアニスト、コレペティートル、室内楽・オーケストラ内での鍵盤楽器奏者として演奏活動を行うほか、編曲、レクチャーコンサートの企画・主催、また、ピアノ、ソルフェージュ、音楽理論講師として後進の指導にあたるなど、多分野で活動している。また、近年ではソロでの演奏にも力を入れている。2016、2018年に松本市で、2022年、東京でソロリサイタルを開催。

